

2010年

7月

8月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
31													



教室のある日



ありの読書会……………10:00～12:30 参加費：300円

「どの子もよく生きようとしている」という人間観で教育から見直しています。



縁側の日……………10:30～12:00 参加費：300円

毎月第一木曜日にしています。認知症に関心のある方、どなたでもどうぞ！

★7月9日～18日は、教室はお休みです。

アイルランドに行っています。プリントを間違えないように持って行ってください。

★8月16日～19日は夏休みです。

★8月の縁側の日は、お休みです。

★8月のありの読書会は、お食事会です。

★ 教室のFAXの番号が変わりました。(電話番号はそのままです)

222-9077 ⇒ 226-3303

〒514-0821 三重県津市垂水 1200-7

☆豊吉晴子★S.L.S.すぎな☆

Tel : 059-222-9077

Fax : 059-226-3303

E-mail : haru_sugina1044@wave.plala.or.jp

Blog : http://blog.goo.ne.jp/s_l_s_sugina/



「やりたいこと・可能性・チャレンジ」から

「今、時間とお金がたっぷりあったら、何がしたい？」

今年の初め、ある人に聞かれて、「海外に行く」と私は即答していました。

「それが、豊吉さんのやりたいことなんじゃないの？」と言われて、ドキッ！

確かに私は、そういうことを実現可能なことに入れていませんでした。お金がない、お母さんがいる…という理由で。家族や教室の生徒の可能性の広がりを願うと言いつつ、自分のやりたいこと・可能性を疎かにしていたのです。何かのせいにして、チャレンジすることから逃げていたのかもしれませんが。

私の人生では、英語でコミュニケーションをとる必要に迫られることもなく、私は本気で英語を勉強することなくきてしまいました。でも、ずっとどこかで思っていたんですね。「英語で学んでみたい」と。

そこで、私に可能な海外でのホームステイはないものかと調べ出したら、道が開けてきたのです。ところが、その決意を英会話の先生に話した日に東日本大震災、手続きが完了して間もなく母が脳梗塞の再発で入院、ときました。

こんなときに行っていくのだろうか？と私の心はグラグラ。しかし…

「おばあちゃんに何かあったら、俺が代わりに行ったる。行くべきや」。

「これでやめたら、おばあちゃんも喜ばんと思うよ」。

私の背中を一番に押してくれたのは、ホームステイ経験のある息子と娘でした。彼らの成長に感謝し母の無事を祈り、私は予定通り行くことにしました。

というわけで、7月9日(土)～18日(月)教室をお休みさせていただきます。

どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

そうそう、行く先はアイルランドです。なぜアイルランドか…？ それも含めてこの続きは、無事帰ってきてからにしましょう。

土産話を楽しみにしててくださいね(^_^)



自分のことが好き。自分でもやればできるんや。

私が教室を始めてから、大学生になって巣立っていく子が何人かありました。自分で選んだ道に進んでいく姿は、どの子にも眩しいものがあります。

Sちゃんも今年の春大学生になりました。

入会したのは小学校5年生。教室最後の日、いろいろ聞かせてもらっていると、へえー、そうだったんだ…と今さらわかったこともありました。

自分のまとめとして、『晴子さんとやってきて』というタイトルで思いつくまま書いてくれました。

紹介させていただきますね。

(もちろんSちゃんの了解済み)

私の中で晴子さんはでっかい存在の人で、晴子さんと毎週話したりすることによって、いつも気持ちに整理がついたりしとった。お母さんに話せやんことでも、晴子さんだけには素直に思っとなることが言えて、唯一私の中で、わかってもらえるっていうか、聞いてくれる大人の人というイメージがあった。

中3の受験の時期も私はなかなか勉強しなかったけど、晴子さんがおって、晴子さんとやれたから、頑張れた。

★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
すぎなに来て、なんか**自分のことが好きにな**
★ **った**気がする。

なんでかは、わからんけど…。

★ 逃げとる自分がおらん**な**った気がする。 ★
★

★ すぎなに来るまでは、わり算はわからへんし、分
★ 数もわからへんしで、ひたすら算数から逃げて、開
★ き直とった。でも、開き直とつても、むっちゃ
★ 自分の中**でも**やもやしたもんがあつて、ほんま苦痛

★ やつたし、自分が嫌**や**った。 ★

★ すぎなに来ていた初めの頃は、実は、**すぎなが** ★
★ **あんまり好きとちが**ったん。 ★

★ たし算、引き算をしたりして、なんで小学生5年
★ 生になってまで、今さらこんなせなあかんの？つ ★
★ て思ったり、こんな簡単なんして、はずかしいつ ★
★ ていう気持ちがあつた。

★ 自分の学年のどこまでいってないのに、カベにぶ ★
★ つかつたりしたときは、いやでいやで仕方なかつた ★
★ し、自分はほんまあほやな**と思**った。

★ でも、ずっとやってて、そのうち、ど**ん**どん最初 ★
★ のたし算、ひき算とかや**つ**ててよかつた、大事つて、
★ 思**え**とつた。 ★

★ すぎなをして、自分**に**自信がついた。 ★

★ **自分でもやればできるん**やつて。 ★

★ ★ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

私がこの教室を始めてから、わかってきたことは、「勉強」を通して、人格的なことにまで影響され、傷ついたり、自信を持ってなくなっている子がたくさんいる、ということでした。

Sちゃんもその1人**だ**ったことを思い出しました。私の息子が「俺は、ばか**なん**や。頭**が**わるい**ん**や」と泣いて訴えてきたことがあります。一体どうして、こんな発想をするようになったのかと驚きました。

その時、私は息子を抱きしめて言ったのを覚えて**い**ます。

「あんたにはちゃんと考える力がある、自分で勉強する力もある。バカ**なん**かじゃない！」

息子**だけ**ではありません。私はどの子もみんな**さ**うだと思っ**て**います。

ただ、かかる時間やプロセスが、一人ひとり違**う**だけ。

「**自分のことが好き**になって、**自信**が持**て**て、**自分**も**や**れば**可**る！と思**え**る」。

泣いたり、怒ったり、憎まれ口た**た**いたりしながらも、どの子にも実感してもらいた**い**いですねえ。

それが、私の願**い**です。